

高齢者肺炎の予防について



串烟重行醫師

薬や医療技術とも多くあります。さらに高齢の方々の向上などに、ます。

ことが明らかにされてい
ます。

さらに高齢の慢性肺疾患患者にインフルエンザ

脛脛挫傷 S 腓骨
能不全のある方

卷之三

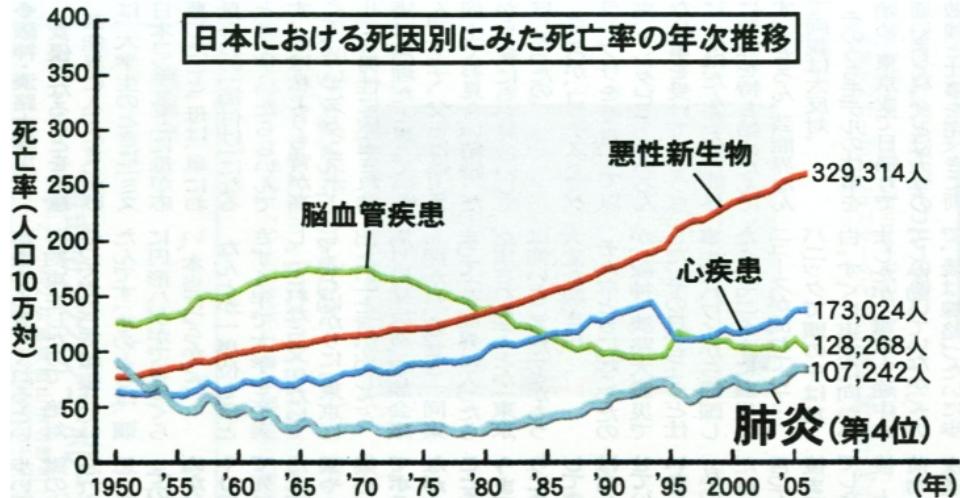
による肺炎の8割ぐらい

糖尿病の方

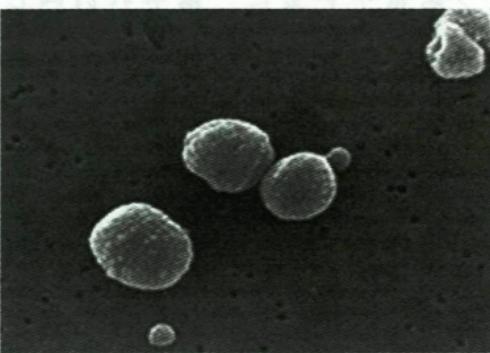
◆腎不全や肝機能障害のある方

◆心臓や呼吸器に慢性疾患のある方

◆高齢者（65歳以上の
方、健康な方も含む）



日本における死因別にみた死亡率の年次推移をみると肺炎は第4位を占めています。



81歳女性、食欲不振で来院。咳、痰はなく、体温は35.8℃。胸部レントゲン写真にて肺炎と診断しました。このように高齢者の肺炎は特異的な所目に苦しむことがあります。

電子顕微鏡で見た肺炎レンサ球菌(*Streptococcus pneumoniae*)です。

■接種に際しての注意点

い肺炎球菌が増加し、30歳未満が50%にも及ぶと言われています。肺炎球菌ワクチン接種をして、注射部位の腫れや痛み、時に軽い熱がみられます。肺炎球菌ワクチンはこのような耐性菌にもの効果があります。

1988年に最初の肺炎球菌ワクチンが発売され、現在日本では製品としてせん。

は「ユーモバクス」(万有菌ワクチン)の接種が勧められます。このような方に肺炎球菌ワクチンの接種が勧めます。

このデータにより、安全に接種できることが確認されています。ただし、過去にこのワクチンを受けたことのある人は、再接種の場合は(2回目の接種)はできません。

このデータにより、安全に接種できます。ただし、過去にこのワクチンを受けたことのある人は、再接種の場合は(2回目の接種)はできません。

で、最も頻度の高い肺炎球菌ワクチンは、ついて肺炎球菌ワクチンは、ついで市中肺炎では6歳以上の方の6割以上が肺炎球菌ワクチンを接種しているとのことです。高齢化社会を迎えている日本でも、このワクチンを有効に使っていなければなりません。また、必要があると考えられます。

種について
洞の市中肺炎の
マイコプラズマ
原体が圧倒的に
炎球菌は2番目
の起炎菌は肺
し、70歳以上の
の起炎菌は肺
一番多く、イン
クチ、ンは高齢
続きます。「肺
菌、嫌気性菌、
クチ、ンは高齢
種すれば、入院を63%死
亡を81%減らすとの海外
報告もあります。冬場に
インフルエンザにかかる
と、傷んだ気道から体内
に細菌が入りやすくなり
ますので、インフルエンザ
ワクチンの接種に加え、肺
炎球菌ワクチンも接種す
ることがお勧めです。
またその効果ですが、イ

製薬)があります。肺炎球菌には80種類以上の型がありますが、肺炎球菌ワクチン接種により、そのうちの23種類に対しても免疫をつけることができます。これですべての肺炎球菌による肺炎の8割くらいに有効と言われています。さらに高齢の慢性肺疾患患者者にインフルエンザウイルスに感染するリスクが高いため、年齢制限なく接種が可能となっています。

■おわりに
年が明けて冬の寒さも本格的になつてきました。風邪は万病の元とも言われています。言い古されたことではあります、手洗いうがい・体調管理に努めましょう。特に高齢の方の場合、症状がはつきりしないままに風邪がこじれて肺炎を発症しているケースを時に経験します。早期発見早期治療が病気をこじらせない基本です。風邪を馬鹿にせず、早めに主治医にご相談いた。だくことをお勧めします。

どのような施設においても感染症の発生には十分留意していると思いますが、その予防の一環として、今後引き続き肺炎球菌ワクチンの接種を勧めています。

齋者福祉施設（特別養護老人ホームや老人保健施設など、介護保険に係る施設）を利用する場合は、デイケアを利用される場合も多くあるかと思われます。このような施設は人が密集し出入りの激しいところですから、当然さまざまな感染症が発生し蔓延する可能性は高いと言わざるを得ません。病院をはじめとして、

- ◆高齢者（65歳以上の方、健康な方も含む）
- ◆心臓や呼吸器に慢性疾患のある方
- ◆腎不全や肝機能障害のある方
- ◆糖尿病の方
- ◆脾臓摘出などで脾機能不全のある方